

次号予告

特集 自然言語処理と数理モデル

- 自然言語処理概論—組合せ最適化の観点から—……………西川 仁 (東京工業大学)
自然言語解析—整数計画問題としての定式化と解法—……………鈴木 潤 (日本電信電話(株))
文書要約のための数的手法……………高村大也 (東京工業大学)
Word Embedding モデル再訪……………堅山耀太郎 ((株)BEDORE)
深層強化学習による対話メディアのモデリング……………竹原一彰 ((株)リクルート住まいカンパニー)
優先度学習による推薦文からの見出し抽出……………竹野峻輔・氏原淳志・岩永二郎 (Retty(株))

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●以前、坂井先生の新書『多数決を疑う』を読んで、意見集約という身近な話題からこんな研究が広がるのかと目からうろこをぼろぼろ落とした私としては、今回の企画はととても興味深く、いずれの記事も面白く読ませていただいた。

●特に、福元先生の記事には、意見集約・選挙というトピックの面白さに加えて、自然実験アプローチという手法の面白さも紹介いただき、とても刺激を受けた。自然実験アプローチにおいて十分な内的妥当性を確保する過程は一種のモデリングとも捉えられるし、オペレーションズ・リサーチとの相性はととてもよいと思われる。

●にもかかわらず、これまでオペレーションズ・リサーチで当手法をあまり見かけなかったのは、オペレーションズ・リサーチが制御実験可能な対象を主戦場としてきたからではないか？

●しかし、最近では医療分野など自然実験アプローチとの相性がよい分野にも戦線が拡大しているの、今後注目される手法となるのではないかと考えさせられた。

●ところで、家庭内で全く意見が通らないお父さんを助けてくれる決め方なんてないかしらん？昔は「鶴の一声」とかいう乱暴な方法もあったらしいけれど今じゃどちらかというと「妻の一声」ですしね…!?

(井床利生)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 猿渡 康文 (筑波大学)
特集担当編集員 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学)
委員 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 高野 祐一 (専修大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田 目崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成29年10月号 第62巻 第10号 通巻682号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。